

自由民主党

菅原 正和 議員

新たな学生フリーパス制度

問 新たな学生フリーパス制度における価格設定と本市の財政負担の考え方、市外からの通学者が利用できる理由を伺う。

答 宮城交通の通学定期の令和3年度平均販売額約1万2千円より低廉な価格となるよう事業者と協議する。また、本市財政負担は販売額の設定や利用者見込み数に

より変動するが、宮城交通の販売実績等を加味して、販売額を1万円として試算した場合、財政負担は年間約5千万円と算定される。市外から通学している若者の移動支援で、活動の場が広がり、本市のにぎわいや活力向上が期待される。OECDチャンピオン・メイヤー・イニシアティブへの選定

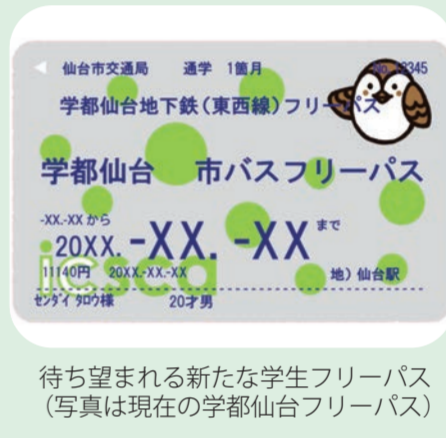
問 チャンピオン・メイヤーズの一員として世界に発信・貢献する立場の市長は、どのように世界に貢献し、市政に生かしていくのか

答 物価高騰に伴う低所得世帯や子ども食堂への支援、東日本大震災における住宅再建の事例等、本市の取り組みを世界に向けて強力に発信し、地球規模の課題解決に貢献する機会だ。今後とも、国際的なまちづくりの動向に気を配りながら各般の

実施に磨きをかけ、グローバルな視点をもつて市政運営に取り組み

問 今後の観光振興とインバウンドも含めた観光戦略

答 (仮称) 仙台ことも財団の取り組みの検討内容と効果
○市役所のDX化と方向性
○ナノテラスを生かす経済活性化策
○脱炭素先行地域選定への取り組み



待ち望まれる新たな学生フリーパス(写真は現在の学都仙台フリーパス)

市民フォーラム 仙台

郷古 正太郎 議員

買い物や通院の交通手段の支援を

問 高齢化が進み、小売店舗が少ない地域や坂道が多い地域では、買い物や通院手段の支援は大きな課題だ。他都市のタクシー費用補助を参考に、本市も検討すべき。

答 高齢者の日常生活の支援として、ヘルパーによる買い物代行等の公的サービスやボランティア団体による支え合い活動への助成

本市で続く事務ミスの改善策が研修やチェック項目の追加では本質的な問題の解決にはならない。事務ミスを誘発するアナログ作業も

問 多くの民間企業との乖離を感じ、DX化は業務の効率化だけでなく市民の利益にも資する。所見を伺う。

答 業務の効率化のため各種事務フローを構築するには、マニュアルの見直しと併せ、システム等を改善し、アラートの発出や自動化などの対策の検討が重要と認識している。このような視点から、現在開発を進めているシステムに



アナログ作業を減らし、デジタル化で事務ミス防止を(写真はイメージ)

代表質疑

本 日 共 産 党

すげの 直子 議員

物価高騰から市民の暮らしを守る市政を

問 ため込まれている基金を活用し、長引くコロナ禍に加えて物価高騰に苦しむ市民の家計負担軽減のための事業や地元事業者へ直接支援を実施すべき。

答 国の物価高騰対策や臨時交付金配分額などを総合的に検討の上、福祉施設や学校等を対象とした食料料費の価格高騰分への対応

公共交通事業者や医療機関等への経営支援として、基金も活用しつつ、重点的に予算配分した。地元事業者への支援では、従前の地域産業応援金の物価高騰加算等の独自支援策のほか、補正予算に「地域企業デジタル化推進事業」を計上した。引き続き事業者支援に取り組む。

問 県内に給食費無償化の動きが広がっている。2学期だけ、または小6と中3だけ等でも、早急な無償化実施へ踏み出す決断を。

答 今般の補正予算は、食料料費の物価上昇分に相当する額を追加するもの。給食費の無償化は、仮に期間や対象とする児童生徒を限定しても、多額の財源を安定的に確保する事が大きな課題だ。全国一律の

制度創設と財源措置が必要と考えており、今後とも国に働き掛けていく。その他の主な質疑項目

○子ども医療費助成の拡充を急げ
○県に県営住宅廃止を撤回せよ、建て替えや維持修繕を求めよ
○高過ぎる国保料の引き下げ
○独自の給付制奨学金制度の創設
○新たな学生フリーパスでは、従前の価格で地下鉄を対象に
○学校の特別教室にもエアコンを



県営住宅の一方的廃止は県の公的責任放棄であり、まちづくりに関わる問題

公明党

鎌田 城行 議員

合理的配慮の提供義務化への理解と協力

問 障がいのある方が声をあげられない場合もある。事業者にも言葉に出さずとも、先んじて合理的配慮を提供する姿勢が求められる。

答 合理的配慮は、求めがある時にだけ行うものではない。事業者による合理的配慮の提供義務化に向けて、より一層、障がいに対する理解を深め、合理的配慮の提

地球温暖化対策の一層の推進を

問 地球温暖化対策は喫緊の課題である。地球温暖化対策推進計画で掲げる目標に対する現状と課題、目標修正の必要性を問う。また、環境に配慮した公用車等の配備状況を示せ。

答 本市の温室効果ガス排出量は削減目標を上回る推移で減少しているが、国の削減目標の大幅な引き上げを踏まえ、地球温暖化対策推進計画等の改定作業を進めている。また、令和4年度末の特殊車両等を除いた公用車914台のうち、電動車は169台となっ



公用車として配備が進む電動車

せんだい 自 民 党

斎藤 範夫 議員

都市ブランド向上に資する。仙台駅西口の再整備

問 仙台駅西口は、本市の顔として、都市ブランドを語る上でも欠かせない要素である。駅前の再整備に係る地権者やデベロッパー、事業者等との協議状況を伺う。

答 旧さくら野地区については、市街地再開発事業の準備組合設立や都市計画の手続きに向けた検討の場に参加し、計画策定や関係機

高度経済成長長期に造成され、人口減少と高齢化が進む住宅団地の活性化を図るため、「若年・子育て世帯住み替え支援事業」での補助金増額など支援制度を充実し、若い世代の居住を促進すべき。

問 関との協議調整等の支援を行っている。EDEN地区については、開発事業者との間で事業計画に係る協議を重ねている。この地区の重要性を踏まえ、引き続き精力的に対応を。若い世代の居住促進

答 昨年度から、若い世代の本市への定着に加え、既存住宅団地の世代更新を図ることで地域コミュニティの維持も目的とした事業を開始した。この事業は2年目であり、まずは事業をしっかりと



都市ブランド向上のため、本市の玄関口であるJR仙台駅西口の再整備を

民 社 フォーラム

ひぐち のりこ 議員

新たな学生フリーパス導入に係る財源確保

問 新たな学生フリーパス導入により生じる通学定期券販売の事業者収入減少分について、毎年一般会計から補填するとしているが、永続的に安定した補填財源をどのように確保していくのか伺う。

答 新たな学生フリーパス制度の構築に当たっては、直近の利用者数の動向等を把握した上で、利

G7仙台科学技術大臣会合では出席者8人のうち7人が女性だった。理工系分野に進み、科学技術分野で活躍することを目指す女子学生にとって希望の持てるロールモデルとなったと思うが伺う。

問 女性の理工系人材の育成

答 会合の関連事業ではAI研究の第一人者である女性研究者による講演もあり、科学技術分野でも女性の活躍がますます期待される。今後、市内の小中学生向けにロールモデルとなりうる研究者をリーフレット等で紹介する予定であり、



子ども第3の居場所として、誰でも自由に遊べるプレパーク

常任委員会 審議の概要 令和5年6月7日開催

委員会に付託された議案等の番号を各常任委員会名の隣に記載しています。

各議案の名称は、4面の会派別議案一覧表をご覧ください。
「○」は付託議案に対する質疑項目

総務財政委員会

付託された2議案のうち、第76号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定し、第99号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定しました。

市民教育委員会

付託された7議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○学校給食に係る物価動向の認識と今後さらに上昇した場合の対応
○大出力の急速充電設備の利用者消費者の安全確保に関する認識
○博物館の地震対策の取り組み

健康福祉委員会

付託された11議案のうち、第99号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定し、第96号議案は原案のとおり本会議で可決すべきものと決定し、その他9議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

経済環境委員会

付託された4議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○地域企業デジタル化推進事業費の提案理由および内容、その次の支援策
○エネルギー価格などの物価高騰に苦しむ事業者への直接支援

都市整備建設委員会

付託された6議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

議長特別表彰を行いました

第5回WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)に侍ジャパンの一員として出場し、14年ぶり3度目の優勝に貢献した松井裕樹選手の活躍と栄誉をたたえ、4月4日に表彰を行いました。



左から松井裕樹選手、赤間次彦議長 (©Rakuten Eagles)

用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。
●OECDチャンピオン・メイヤー・イニシアティブ(注1)
(2面2段)
(2面2段)
●プレパーク(注2)
(3面6段)
子ども安全確保に配慮しながら遊びを導き出すスタップが配置され、子ども自身が工夫して遊びを作り出す等、誰でも自発的に自由な遊びを実現できる場。
●特色選抜(注3)(4面2段)
県内公立高校の入学者選抜方法の一つ。入試の学力検査点と中学

在学中の教科の評定に基づく調査書点に加え、実技、面接、作文の得点を合計し、部活動など調査書記事事も用いて総合的に審査し選抜する。

●ボランティアポイント制度(注4)(4面4段)
高齢者の社会参加活動を通じて介護予防を推進する観点から、高齢者が行った介護支援ボランティア活動等の実績に基づき、自治体がポイントを付与し、ポイントに応じて商品券等と交換できる制度。
●懸造(注5)(4面4段)
崖などの高低差が大きい土地に、長い柱等で床下を固定して、その上に建物や建物を建築する。京都府清水寺本堂が著名。
●アウトバンド(注6)(4面4段)
「出ていく、外向きの」の意。観光分野では自国から外国への旅行や旅行客等を意味する。「インバンド」の対義語。